

スクリーン



小野市立河合中学校 小野市三和町 983-2

学校評価と分析について

小野市立河合中学校長 高瀬 城作

令和6年度も残すところあとわずかとなってまいりました。保護者の皆様におかれましては、この一年間、本校教育に多大なご協力・ご支援をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、保護者ならびに児童生徒を対象に過日実施いたしました、本校教育活動に関するアンケートの分析結果と今年度の総括、および今後の方向性について、下記のようにご報告させていただきます。

アンケート結果の見方について

アンケートは 6～9 年生の保護者と児童生徒を対象とし、各質問内容について、「A=そう思う」、「B=ややそう思う」、「C=あまりそう思わない」、「D=そう思わない」、「? =判断できない」の選択方式で実施しました。分析は「A・B」を肯定的な評価と捉え、類似する質問ごとに総括したうえ主だった内容について取りまとめています。

1 家庭・地域への情報提供と連携

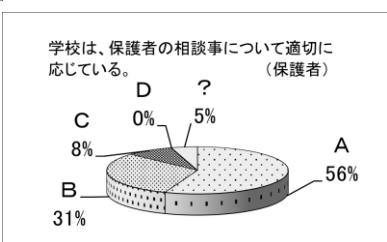
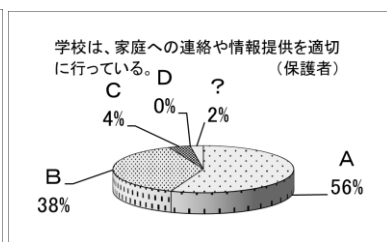
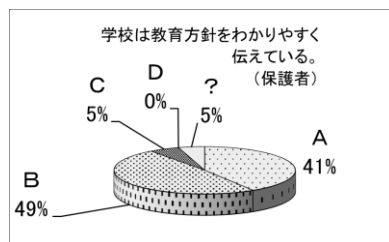
学校の教育方針や行事予定は、毎月発行しています学校だより「Family」や、各学年の学年だより等でお伝えしてきました。また、年3回のオープンスクールで、子どもたちの様子を参観していただくことで、本校教育活動への理解を深めていただくとともに、学校と保護者・地域の皆様の連携を促進し教育活動の効果を高めてきました。ただ、アンケート結果より、「保護者の相談事について適切に応じている」という項目において、若干のご意見をいただいております。これからも今以上に、保護者・地域の方のご意見を真摯に受けとめ、子どもたちの教育活動に有効に生かしていきたいと思っております。

例年、5月の小中合同体育祭前週に河合地域づくり協議会の協力の下、グラウンドの除草作業を行っています。来年度は、PTA 奉仕作業と重ねて、地域・保護者の方と共に、体育祭を盛り上げていけたらと考えています。

今後、HP や今年度から導入していますスクリーン等で、丁寧な情報発信に取り組んでいき、より多くの方の声をいただけるよう工夫していきたいと考えています。

今後、HP や今年度から導入していますスクリーン等で、丁寧な情報発信に取り組んでいき、より多くの方の声をいただけるよう工夫していきたいと考えています。

今後、HP や今年度から導入していますスクリーン等で、丁寧な情報発信に取り組んでいき、より多くの方の声をいただけるよう工夫していきたいと考えています。



2 学校生活の充実度

学校生活の充実度に関する項目の中の学習に関わる質問に対する回答は右のグラフの通りです。全体的に肯定的な思いをもっている児童生徒、保護者の方の割合が高いことがわかります。

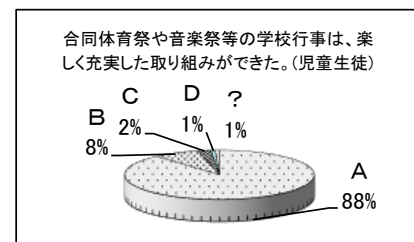
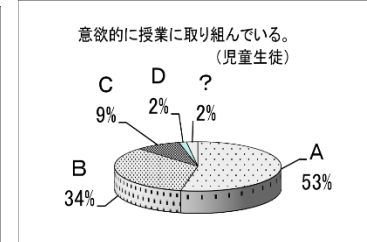
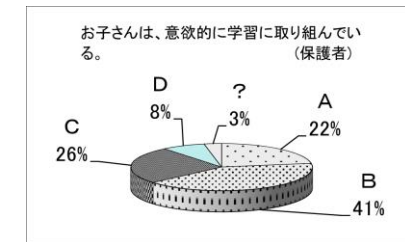
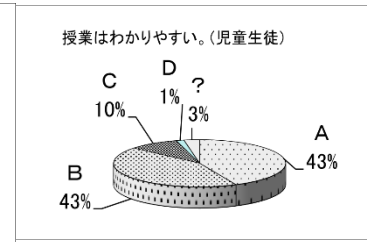
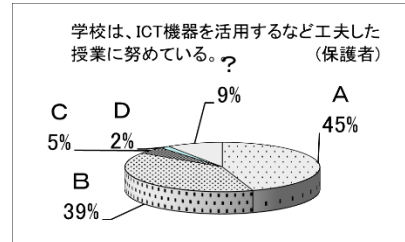
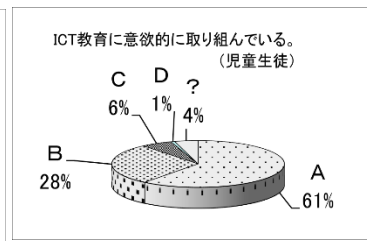
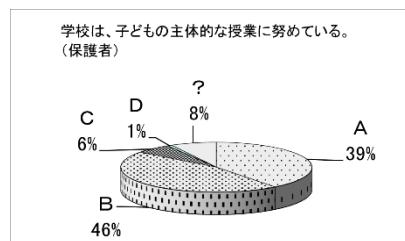
中でも児童生徒では『中学校での授業はわかりやすい』『意欲的に授業に取り組んでいる』の項目の肯定的評価が高くなっています。また、保護者のアンケートからも『児童生徒が主体的に取り組める授業になっている』の割合が高く、全体として充実した授業の時間を児童生徒は過ごしていることがわかります。

そして、児童生徒、保護者ともに肯定的な評価が高かったのが ICT 機器の活用による授業です。Chromebook が導入されて数年が経ち、効果的な活用方法に関する研究が進んできた結果だと考えられます。動画などで内容を分かりやすく提示したり、調べ学習をしたりするだけでなく、情報を集め、整理し、発信していくという現在求められている力をつけるために有効なツールとしてこれからも使用していきたいと思っております。

児童生徒会スローガンにあるように、6～9 年生一人ひとりが、小さな革命を起こし、全員で日々成長していこうと協力し、創り上げた学校行事でした。グラフの結果からも読み取れるように、今年度も多くの児童生徒や保護者の方々にとって充実した活動になったのではと自負しています。

体育祭では、昨年度と同様に 1～9 年生の関わりを大切に、その絆を深めるために、児童生徒会役員が中心となって、練習の仕方や関わり方、競技の実施方法を工夫しました。また、クラスの団結をより深めるために 6～9 年生の赤白対抗で行う大縄跳びを新たに実施しました。どの種目に対してもどうすれば今より良くなるかということを考え、一生懸命練習に取り組む姿が印象的でした。

音楽祭に向けては、今年度も 6～9 年生全校生での合唱を実施しました。それぞれの学年の良さを前面に出しつつ、6～9 年生全員が協力し、1つの合唱を創り上げる姿が素晴らしかったです。今後も学校行事が、児童生徒一人ひとりの成長につながるよう充実させていきたいと思っております。また、一つひとつの学校行事を、ご家庭でも話題にいただけたら幸いです。

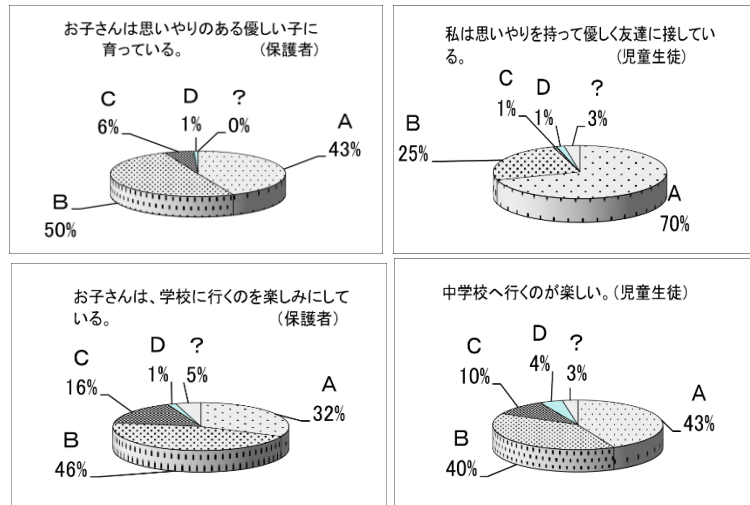


3 家族との関わり・家庭生活

家庭のご指導とご協力のおかげで、今の児童生徒たちの学校生活があると実感しています。

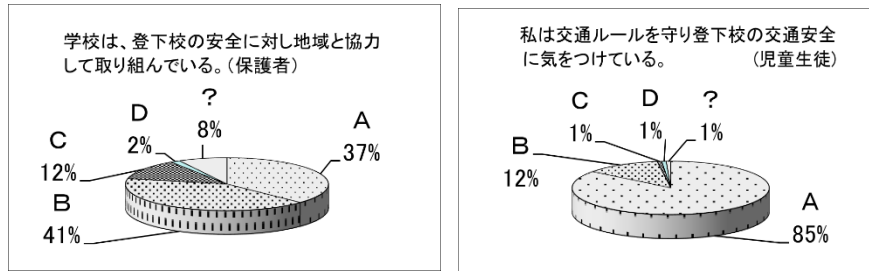
アンケート結果から、友達に会えることを楽しみにして学校生活を送る児童生徒が多くいることが分かりました。同時に、思いやりのある優しい児童生徒が本校にはたくさんいることを、児童生徒に限らず保護者にも実感していただいています。これからも、悩みやストレスにより学校生活に不安を抱えている児童生徒が相談しやすい環境づくりを心掛けるとともに、教職員全体で児童生徒のSOSを敏感に察知し、明るく元気に学校生活が送れるように努めていきたいと考えております。

ご家庭でお子様と話す中で、気になることがございましたら、いつでも学校にご連絡ください。

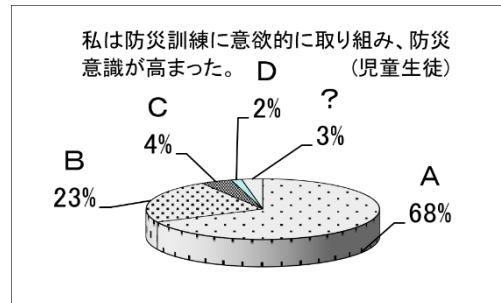


4 安全な登下校、防災訓練・防災意識の高揚

『交通ルールの遵守、安全な登下校(児童生徒)』の項目では、昨年同様、高い安全意識を持って登下校しているように感じています。年度当初に自転車訓練や上級生との登下校が安全意識の定着につながっているように思います。しかし、並列走行や自転車の危険運転に関して指導を行うこともあり、全員が守れている訳でなく、またいつ事故に巻き込まれるか分からない状況であることも継続して伝えていきたいと思えます。歩行者も運転者も互いに気を付ける交通意識を高めていきたいです。ご家庭でも登下校時のマナーとルールについてお話いただきますようお願いします。



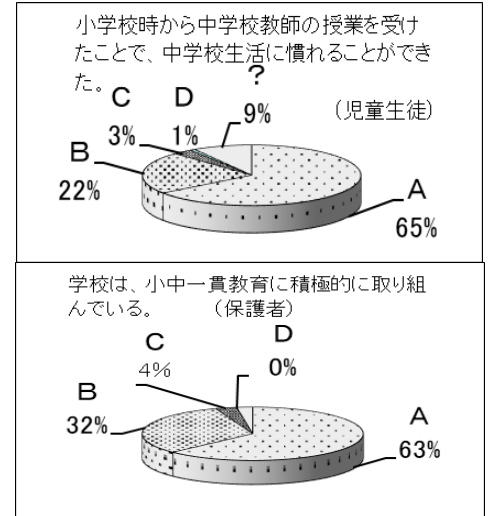
「防災訓練・防災意識」については、児童生徒たちの防災意識も交通意識同様、高い意識を持って生活しています。1学期は不審者を想定した避難、3学期には阪神・淡路大震災の追悼集会を行いました。そして、震災・学校支援チーム(EARTH)の西村千恵子氏をお招きし、昨年の能登半島へ派遣された時の様子を中心に講話をしていただき、中学生として避難所での過ごし方などを考えました。教員も AED・心肺蘇生法訓練を行い、対応力の向上に努めています。これからも様々なことを想定した訓練を行い、継続して対応力の向上に取り組んでいきます。



5 小中一貫教育の推進

5・4制による小中一貫教育を始めて今年で10年目を終えました。児童生徒のアンケートから、『小学校から中学校教師の授業を受けることで、中学校生活に慣れることができた』の項目について肯定的な評価が87%と、子ども達自身が小中一貫教育の有効性を感じていることが読み取れます。また、95%の保護者の方より、『学校は、小中一貫教育に積極的に取り組んでいる』との評価をいただいています。

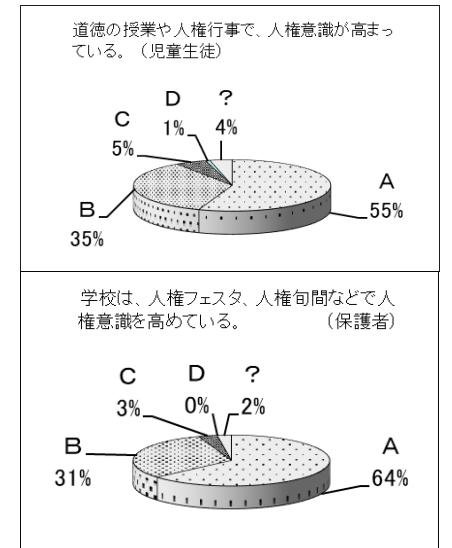
これらより、小中一貫教育が河合校区の学校教育における土台となっていることがうかがえます。そのような小中一貫教育をこれからも推進し充実させていくために、校種、担当学年等の枠を解いた学校研究組織を基本とし、小中の教職員が一体となって教育を行えるようさらに研鑽を深めていきたいと考えています。



6 人権・心の教育

『道徳の授業や人権行事で人権意識が高まっている(児童生徒)』の項目では、90%の児童・生徒が肯定的評価を返しており、日々の取組が児童・生徒の人権意識高揚につながっていると感じます。また、『人権フェスタ、人権旬間などで人権意識を高めている。(保護者)』の項目における高評価からも、本校教育活動を好意的に受け止め支えてくださっている様子が伝わって参りました。加えて、「人権フェスタでの発表を通して児童・生徒たちの主体的な学習活動を目にすることができて、自分自身もすごく勉強になった」というご意見を多数いただきました。

今後も日々の学校生活を通して、さらなる人権意識・人権感覚の涵養に努めていきたいと考えております。



7 総括

学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。ご回答いただいた項目それぞれについて、児童生徒向けアンケートの結果も踏まえ学校内で上記のように総括・分析いたしました。5・4制小中一貫を柱とする本校の教育活動も実施以来10年となり、児童生徒の落ち着いた学びの姿や主体的な生活として実を結んでいます。これもひとえに、家庭や地域の方々に支えられているためであると、アンケート結果より改めて感じる事ができました。その他ご指摘いただいた点についても、教育活動の充実に向けて生かしていきたいと存じます。これからも、皆様のご期待に添えますよう努力してまいります。今後とも本校教育に一層のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。